

「平成31年度 人事担当者のための精神・発達障がい者雇用アドバンス研修事業」  
業務に係る大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会会議  
議事要旨

1. 日時及び場所

○書類審査及びプレゼンテーション審査

平成31年3月26日（火曜日） 午前10時40分から午前11時30分  
エル・おおさか本館11階セミナールーム

2. 審査方法

あらかじめ定められた審査基準（企画提案公募要領に記載）に基づき、3名の選定委員会委員が書類審査及びプレゼンテーション審査を行った。最終的に選定委員の合議で評価し、評価点数の合計が基準点を上回る提案者を最優秀提案者として選定。

3. 審査対象者（応募者）

株式会社 アソウ・ヒューマニーセンター

4. 議事概要

（1）一次審査（書類審査）

- ・審査方法の確認
- ・企画提案内容についての書類審査

（2）二次審査（プレゼンテーション審査）

- ・提案内容について、提案者が15分間のプレゼンテーションを実施
- ・その後、選定委員会委員から質疑応答を実施

【主な質問の内容】

- ・受講企業や体験受入れ先企業の新規開拓が重要になるのではないかと。
- ・体験型研修の受入れ先（実績）に偏りがあるが、理由があるのか。

○書類審査及びプレゼンテーション審査の結果を踏まえて各選定委員が総合評価を行い、集計したところ、基準（60点）を超える総合評価点を獲得した。

総合評価点 （100点満点）	企画提案点 （満点80点）	価格点等 （満点20点）	提案金額（消費税込）
75	55	20	3,612,000円

## 5. 選定理由

事業の企画内容、障がい特性への理解、実施体制、実績等から、本事業の効果的な実施が期待できる。提案価格も妥当と判断されることから、これらを総合的に勘案した結果、株式会社アソウ・ヒューマニーセンターを最優秀提案者とする。

### ○その他の意見

- これまでの実績やアンケート等から研修カリキュラムを次にどうフィードバックさせるかが重要。
- 企業を啓蒙する事業が有用であるが、新規参加を促すためのPRが重要である。

## 6. 選定委員会委員（敬称略）

職名	委員名	選定理由
近畿大学 医学部精神神経科学教室 教授	白川 治	学識経験者であり精神科専門医の立場から、精神・発達障がい者についての理解促進や、病状等を考慮した雇用の拡大に資するものか審査。
一般社団法人 大阪府中小企業診断協会 中小企業診断士	谷村 真理	経営分野の専門家として、中立・公平な立場から、また、企業経営に全般的な見識を有しており企業の人材確保・採用ニーズについても精通することから、中小企業における精神・発達障がい者の人材確保の観点から、提案内容の実現性、事業効果について審査。
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部大阪障害者職業センター 次長	岡野 真理	障がい者の職業的自立のために、障がい者、事業主等に対して総合的な支援を行っており、精神・発達障がい者の雇用促進、職場復帰、雇用継続のための企業支援等に精通していることから、提案内容が障がい特性等の理解に結びつくか、実効性や効果を審査。